

この度はニュースター ドアクローザをお買いあげ
いただきまことにありがとうございます。
ドアクローザを正しくお使いいただく為に、
取付・取扱説明書を十分にお読みになり、取付を
行って下さい。

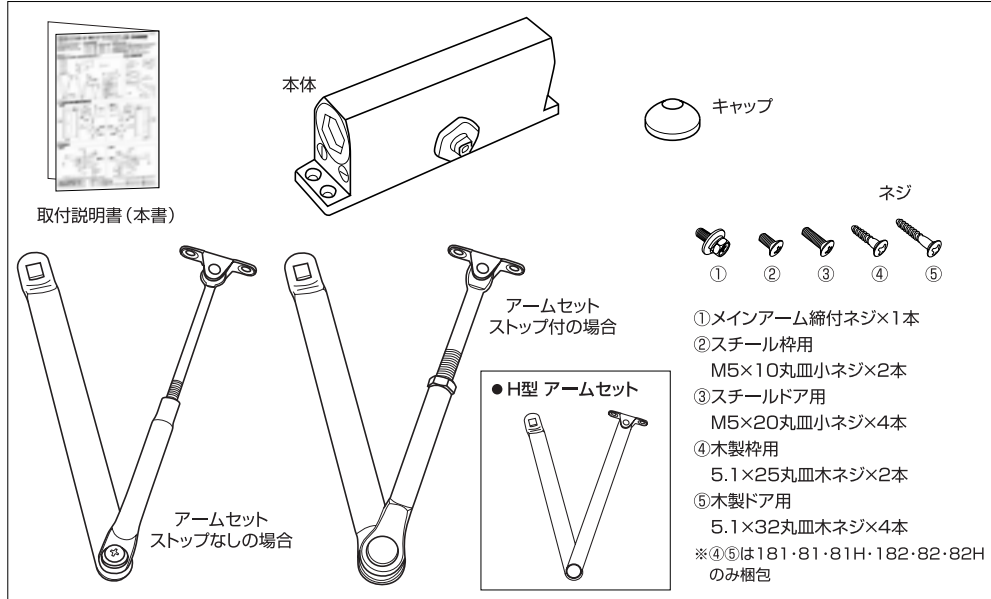
本取付説明書の対象商品

ストップ付	ストップなし		適用ドア寸法 DW×DH mm	ドア重量 kg 以下
	H型	標準型		
181	81	81H	800×1800	30
182	82	82H	900×2100	45
183	83	83H	950×2100	65
184	84	84H	1050×2400	85

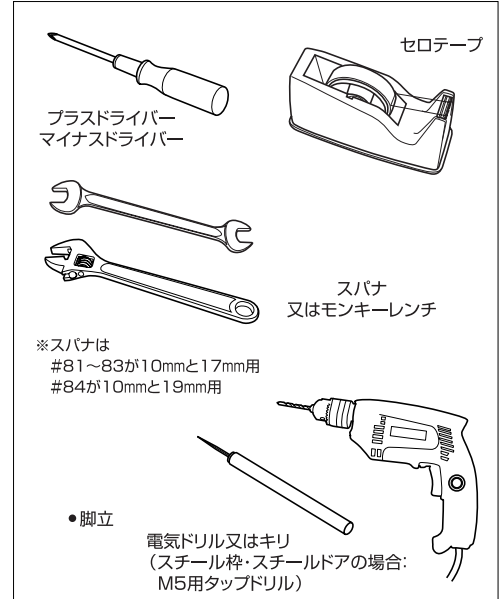
取付作業に入る前に

- 梱包物一覧を参照して箱の中身を確認して下さい。品番により部品の形状が異なります。万一、欠品などがございましたら、ご購入元にご連絡下さい。
- ドアを開ける力は、ドアクローザを取付後、パネの力により重たく感じられます。(軽くすることは出来ません。)
- この商品は右開き・左開き兼用です。本体を上下転倒すれば変更出来ます。

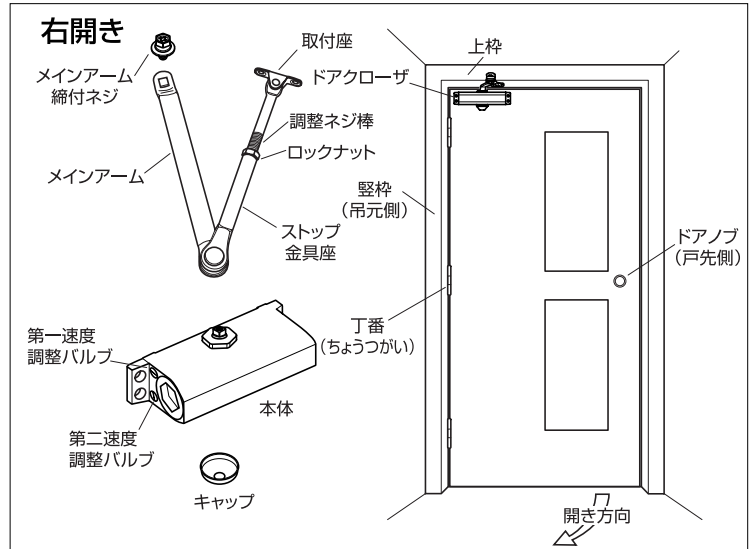
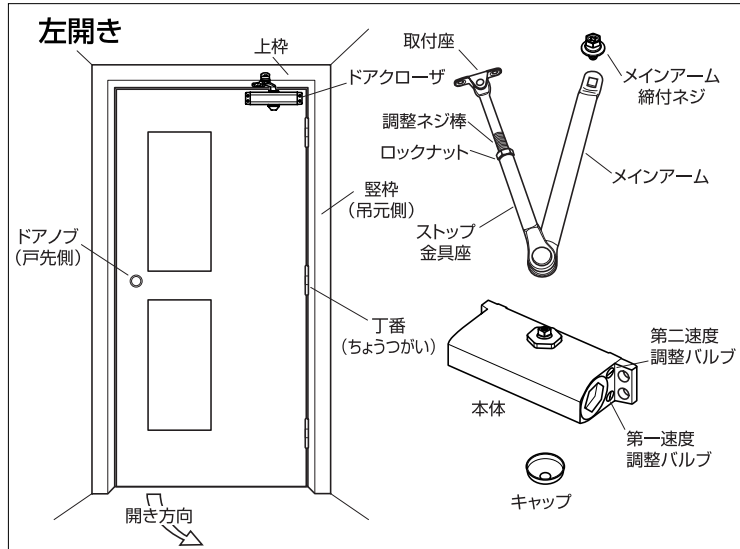
梱包物一覧 (品番により部品の形状が異なります。)



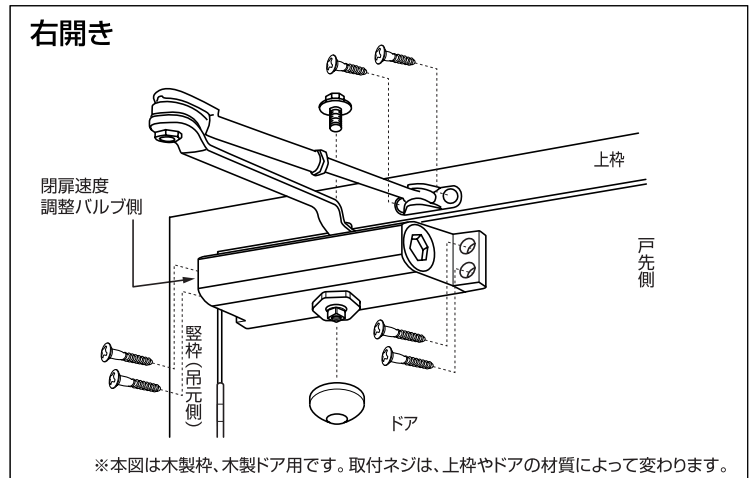
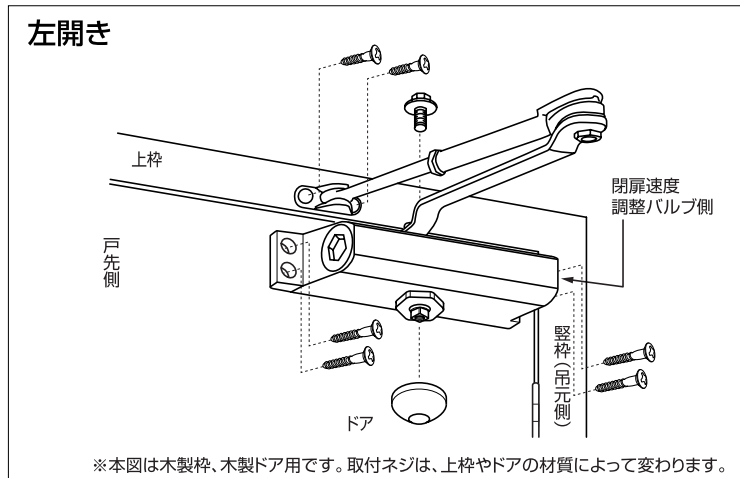
取付に必要な工具



ドアの開き方向の確認と各部名称



全体組立図



**本書は必ず御施主様、又は
御入居者様へお渡しください。**

日本ドアーチエック製造株式会社

東京本社 / 〒110-0012 東京都台東区竜泉一丁目27番9号 TEL(03)3871-1411(代)
(ニュースター東京ビル)
大阪本社 / 〒544-0014 大阪生野区糺東三丁目17番10号 TEL(06)6758-1251(代)

札幌支店 / TEL(011)851-8255~6
仙台営業所 / TEL(022)284-7501
北陸支店 / TEL(076)243-2120(代)
静岡営業所 / TEL(054)238-2751
名古屋支店 / TEL(052)981-7531~2
広島営業所 / TEL(082)877-1611~3
福岡支店 / TEL(092)271-5491(代)
高松営業所 / TEL(087)843-1212~3

ドアクローザ 80シリーズ (スタンダード型)

取付順序

ドアを完全に閉じた状態で作業して下さい。

本図は右開きを示します。
左開きの場合は全体取付図を参照し、作業して下さい。

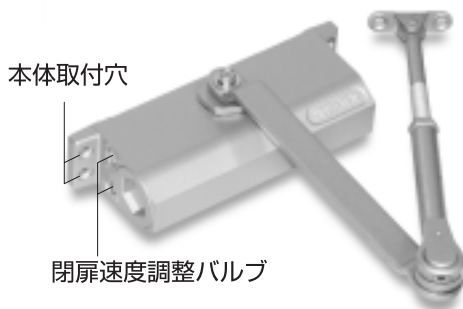
1 本体取付位置を決める。



ドアの開き方向を確認し、取付型紙を使います。取付型紙の使用手順を参照し、作業を進めて下さい。取付型紙をセロテープで固定し、ネジ穴の位置に電気ドリル、又はキリで目印を付けて下さい。
取付型紙を外してから取付穴を開けて下さい。

【使用工具】 電気ドリル、又はキリ
(スチール枠・スチールドアの場合:M5用タップドリル)

2 本体にアームセットを取付ける。



メインアームをドアと直角になるようにしっかりと取付けて下さい。

【使用工具】 プラスドライバー、スパナ、又はモンキーレンチ
【使用ネジ】 ①メインアーム締付ネジ×1本

3 本体をドアに取付ける。



閉扉速度調整バルブ側が吊元側に向くように取付けて下さい。

【使用工具】 プラスドライバー

【使用ネジ】

上枠がスチールの場合・・・③M5×20丸皿小ネジ×4本

上枠が木製の場合・・・⑤5.1×32丸皿木ネジ×4本



注意

本体は電気ドライバーで締付けないで下さい。

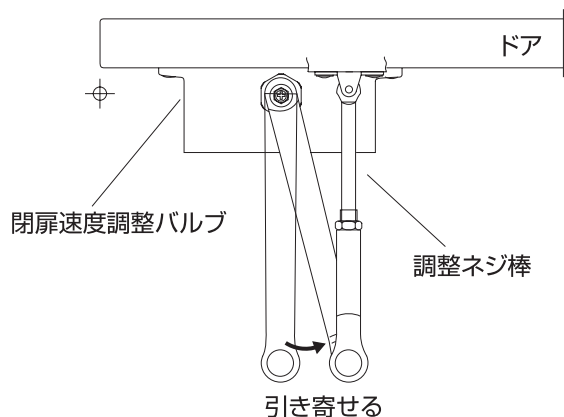
4 調整ネジ棒の長さを調整する。



ドア全閉の状態ではメインアームを戸先方向に回し、調整ネジ棒がドアと直角になるか確認して下さい。直角にならない場合は、調整ネジ棒のロックナットを少し緩めて、調整ネジ棒がドアと直角になるように回して長さを調整して下さい。

【使用工具】 スパナ、又はモンキーレンチ

上から見た図



注意 メインアームを回す時、アームが戻ろうとする力が加わるので、指を挟まないように注意して下さい。

5 上枠に取付座を取付ける。



【使用工具】 プラスドライバー

【使用ネジ】

上枠がスチールの場合・・・②M5×10丸皿小ネジ×2本

上枠が木製の場合・・・④5.1×25丸皿木ネジ×2本

6 ロックナットを締付ける。

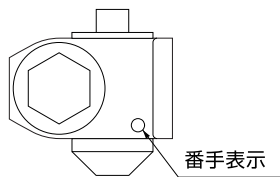


【使用工具】 スパナ又はモンキーレンチ

7 キャップをはめる。

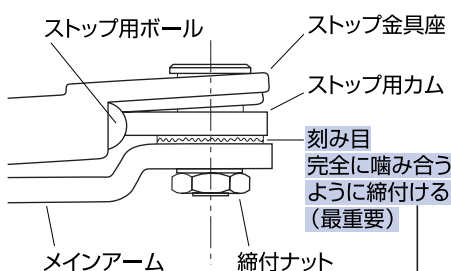
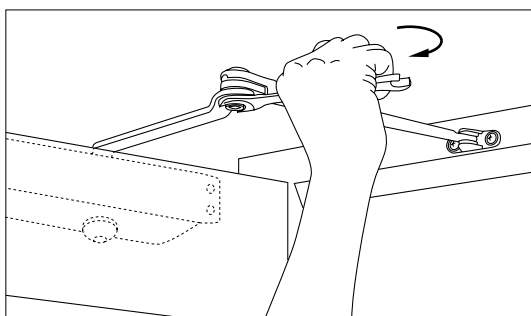


番手の見分け方

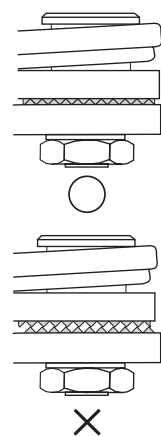


- #81.....1
- #82.....2
- #83.....3
- #84.....4

8 ストップ角度の設定 ドアを70°から120°迄(181・81は150°開き)の好きな角度で止めることができます。



刻み目の状態



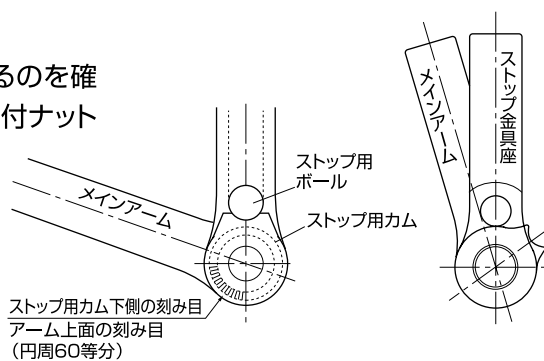
ストップ用ボールがストップ用カムにはまった状態で、ストップさせたい位置までドアを開き、締付ナットを締付けます。(出荷時、ストップ用ボールとストップ用カムははまった状態で、メインアームは回転する程度に設定してあります。メインアームとストップ金具座の連結部分は絶対に分離しないで下さい。)

メインアームとストップ用カムの刻み目を確実に噛み合せて下さい。

(戻り代がありますので設定した角度から若干戻ります。)

再度調整する場合は、ストップ用ボールとストップ用カムがはまっているのを確認してから締付ナットを緩め、ストップさせたい位置までドアを開き、締付ナットを締付けます。

【使用工具】 スパナ、又はモンキーレンチ

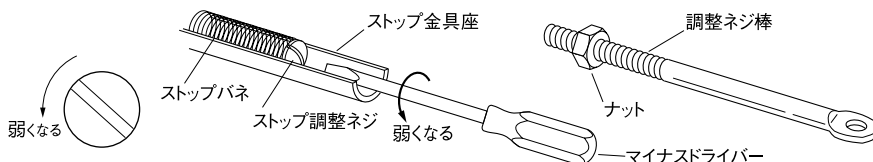


注意 ナットの締付、メインアームとカムの刻み目の噛み合わせが不十分な場合は、ストップ不良を起こし、部品の破損につながります。

9 ストップカの調整

ストップ保持力は最大に設定しています。

弱くしたい場合は、ナットを緩め、ストップ金具座から調整ネジ棒を外し、中にあるストップ調整ネジを左へ少しずつ回して調整して下さい。

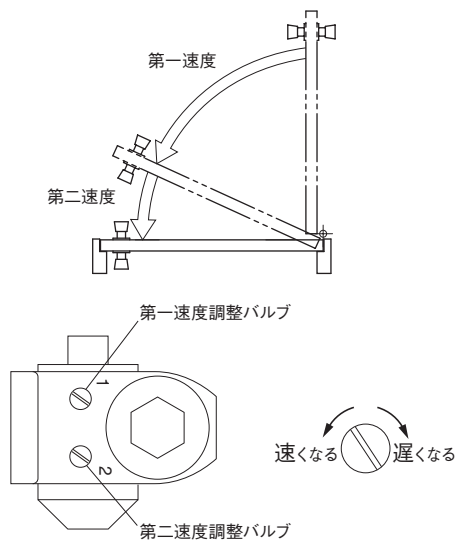


10 閉扉速度

第一及び第二速度調整が各々のバルブにて出来ます。

第一及び第二速度の差を極端に大きくすると、故障の原因になります。

(ドア幅が900mmの場合、90° から閉まる迄の適正閉鎖時間は5～8秒です。)



調整が必要な場合は、第一速度は“1”のマーク側のバルブ、第二速度は“2”のマーク側のバルブを回して調整して下さい。

【使用工具】 マイナスドライバー

注意 調整をする場合、緩め過ぎると油が洩れるので、閉扉速度調整バルブを本体の表面より出さないで下さい。

以上で取付け完了です。

※1 H型の場合は **4** の作業は不要です。

※2 ストップなし (81～84・81H～84H) の場合は **6 8 9** の作業は不要です。